

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジャンプ土佐		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日		令和8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	風通しの良い職場環境でチーム力が高い	コミュニケーションが活発となるよう全職員で食事をしたり、お茶をしながら談笑する機会を定期的に設けている。	継続してコミュニケーションを大切にしながら、個々の職員の強みを生かした支援が出来るよう連携を図っていく。
2	充実した活動を行えるよう計画・実施している	ブレイルーム等での運動遊びを多く取り入れている。製作活動は作る家庭と遊ぶ時間の両方を楽しめるよう、作った後で遊べる製作を計画し取り組むようにしている。	日常生活につながる遊び、社会性を育てるチーム遊び等、狙いを明確にし、レパートリーを増やす。仕上がった製作をもっと手に取りやすい飾り方とし、今以上に自由に遊べるようにする。
3	個別支援計画をはじめ、様々なことを全職員で共有し、支援にあたっている。	どんな些細な事でも朝礼で報告しあい共有し、知らなかった事がないようにしている。また、気が付いた事等なんでも伝えあい共通理解とし、支援に活かしている。	より良い支援が出来るよう子供たちにとっての最善を考えながら、職員間で話し合いを進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の関わりが少ない。	交流会を実施するよう計画をしていたが、開設初年度と言うこともあり実施に至らなかった。	早急には実施できるよう再計画し交流会を開き、保護者様や家族様が関わりを持てるようにする。
2	地域の場との交流や地域のほかの子どもとの関わりが少ない。	放課後児童クラブや児童館との交流や地域のほかの子どもと活動する機会があるかに対して「はい」という回答が二名と少なかった。実際関わりを持つことが出来ていない。	地域の公園へ出かけたりし、関わりを持てる機会を増やしていく。
3	保護者様への伝達が完全ではない。	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出、その他の必要な訓練が行われているかに対して「わからない」の回答が半数近くあった。訓練日が利用日でない児童がいたり、SNS等の発信が出来ていなかった。	訓練は行っているが周知が不十分だったため、訓練の様子等をSNS等で発信し、伝えるようにする。訓練の曜日をローテーションしていく。